

1. 仕事(職場)について教えてください

現在、私が所属している福岡空港税関支署検察部門では、主に福岡空港で発生する犯則事件の調査を行っています。海外から入国する旅客の携帯品や航空便で輸入される貨物の中から、日本に持ち込むことが禁止されている薬物や拳銃、コピー商品などが発見された場合、もしくは関税等を脱税(ニュースなどでよく耳にする、金地金密輸入事件等)しようとした場合には、犯則事件として関係者の取調べや、裁判所の令状に基づく捜索・差押え、電子データの解析など様々な手法を駆使して調査を実施し、新たな関係者の割り出しを進めつつ、証拠を収集して事件の全容解明を目指しています。



また、犯則事件の調査に当たっては、必要に応じて警察や海上保安庁、麻薬取締部といった関係取締機関と合同で調査を実施することもあります。

2. 仕事の中で印象に残っていることは何ですか？

私が、犯則事件の調査を担当する審理部門に初めて配属となったときには、ベテランの先輩方から、ゼロ状態から優しく、丁寧に、根気強く知識と技術を教えて頂きました。

そんな先輩方と多くの密輸事件に携わり、時には愛のあるお叱りを受け、心が折れそうなこともありましたが、事件の全容解明に向け、皆で同じゴールを目指して全力を注ぐことに誇りと使命感を持って取り組まれる先輩方の背中を見て、自分もこんな税関職員になりたいと思い、使命感と緊張感を持って精一杯取り組むことができました。多くの密輸事件の中でも、令和元年に熊本県の漁港において覚醒剤約600キログラムの密輸を摘発した事件に携わった際は、非常に緊迫した現場でしたが、充実した達成感があり、最も印象に残っています。

3. 採用研修について教えてください。

採用研修では、全国の税関から同期が集まって共同生活を行い、様々な分野の講義を受けましたが、初めて勉強する分野が多く、苦勞したことも多々ありました。実際の現場での仕事に役に立つことも多く、もっと勉強しておけば良かったなというのが本音です。

生活面では、全国の同期と休日には一緒にスポーツをしたり、いろんなところに出掛けたり、些細なことで笑い合ったりと同期との絆を深められました。同期には、実際の現場に戻ってからでも助けてもらうことが多く、採用研修を通して全国の同期と親睦を深められたことが何よりの収穫だと思います。

4. 税関の魅力、やりがいは何ですか？

税関では、海港・空港の取締り、旅客の荷物検査、貨物の通関、事件調査など多様な分野にわたる業務があり、また、様々な国の方々と接し、多様な価値観・文化を身近に感じる機会があることも魅力だと思います。

また、日本に不正薬物等の違法な物品が流入するのを水際で防ぎ、貿易秩序の維持や国内の治安維持に貢献できることも、大きなやりがいだと思います。



5. 就職活動中のみなさんへメッセージ

試験や面接など就職活動は大変かもしれませんが、一緒に「水際を守る、日本の未来」に取り組む仕事ができる日を楽しみにしています！